(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3710318号
(P3710318)
(45)発行日　平成17年10月26日(2005.10.26)　(24)登録日　平成17年8月19日(2005.8.19)

(51)Int.Cl.[7]　F I
B42D 11/00　B42D 11/00　E

請求項の数 2　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願平11-80846
(22)出願日　平成11年3月25日(1999.3.25)
(65)公開番号　特開2000-272271(P2000-272271A)
(43)公開日　平成12年10月3日(2000.10.3)
審査請求日　平成15年1月28日(2003.1.28)

(73)特許権者　000110217
トッパン・フォームズ株式会社
東京都港区東新橋一丁目７番３号
(74)代理人　100077986
弁理士　千葉　太一
(72)発明者　重見　一臣
東京都福生市熊川１２９６－１

審査官　蔵野　いづみ

(56)参考文献　特開平０６－２３９０５９（ＪＰ，Ａ）
特開平０６－１５５９６６（ＪＰ，Ａ）
実開平０４－０２０４７６（ＪＰ，Ｕ）
特開平０２－１７８０９４（ＪＰ，Ａ）

最終頁に続く

(54)【発明の名称】配送票

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

裏面側に貼着部を設け、表面側には配送情報記入部を設けた貼付票と、表面側に配送情報記入部と受領印捺印部を設けた受領票と、同じく表面側に配送品明細情報記入部を設けた明細票とからなり、前記受領票と前記明細票とは折り兼切り部を介して連接し、前記受領票と前記明細票のいずれか一方と、前記貼付票とは切り部を介して連接してなる配送票であって、前記明細票と前記受領票の表面側同士を折り重ね可能とし、これら両票を重ね合わせた時に両票の重ね合わせ状態を維持するように、重ね合わせた対接面の適所を接着可能になしうるとともに、接着後に分離可能になしうるように構成したことを特徴とする配送票。

【請求項２】

表面側には配送情報記入部を設けた貼付票と、表面側に受領印捺印部を設けた受領票と、同じく表面側に配送品明細情報記入部を設けた明細票とからなり、前記受領票と前記明細票とは折り兼切り部を介して連接し、前記受領票と前記明細票のいずれか一方と、前記貼付票とは切り部を介して連接してなり、前記貼付票とこの貼付票と連接した票の裏面側には貼着部を設けてなる配送票であって、前記貼付票の貼着部は一旦接着すると剥離困難な強接着部で、この貼付票と連接した票の貼着部は一旦接着しても剥離可能な弱接着部であり、前記明細票と前記受領票の表面側同士を折り重ねた場合に、重ね合わせた対接面の適所を接着するための接着部を、前記対接面の適所に相対的に設ける一方、接着部分を分離するための分離機構を前記対接面に相対的に設けたことを特徴とする配送票。

【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、裏面側に貼着部を設け、表面側には配送情報記入部を設けた貼付票と、表面側に少なくとも受領印捺印部を設けた受領票と、同じく表面側に配送品明細情報記入部を設けた明細票とを、連接してなる配送票に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来の配送票は、配送情報を記入する貼付票と、配送品の明細情報を記入する明細票とは、別体に構成しているのが一般的である。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
この従来例によると、配送品に貼付する貼付票と、配送品の内容を表示した明細票とが別体なので、配送品の内容と貼付票とにマッチングミスを生じたり、配送品の内容が明細票の記入事項から他人に知られてしまうという不都合を生じていた。本発明は、このような不都合を解消した配送票を提供することを目的とする。
【０００４】
【課題を解決するための手段】
この目的を達成するために本願の請求項１に記載した配送票は、裏面側に貼着部を設け、表面側には配送情報記入部を設けた貼付票と、表面側に配送情報記入部と受領印捺印部を設けた受領票と、同じく表面側に配送品明細情報記入部を設けた明細票とからなり、前記受領票と前記明細票とは折り兼切り部を介して連接し、前記受領票と前記明細票のいずれか一方と、前記貼付票とは切り部を介して連接してなる配送票であって、前記明細票と前記受領票のいずれか一方の表面側同士を折り重ね可能とし、これら両票を重ね合わせた時に両票の重ね合わせ状態を維持するように、重ね合わせた対接面の適所を接着可能になしうるとともに、接着後に分離可能になしうるように構成したものである。
【０００５】
また、同じく上述の目的を達成するために、本願の請求項２に記載した配送票は、表面側には配送情報記入部を設けた貼付票と、表面側に受領印捺印部を設けた受領票と、同じく表面側に配送品明細情報記入部を設けた明細票とからなり、前記受領票と前記明細票とは折り兼切り部を介して連接し、前記受領票と前記明細票のいずれか一方と、前記貼付票とは切り部を介して連接してなり、前記貼付票とこの貼付票と連接した票の裏面側には貼着部を設けてなる配送票であって、前記貼付票の貼着部は一旦接着すると剥離困難な強接着部で、この貼付票と連接した票の貼着部は一旦接着しても剥離可能な弱接着部であり、前記明細票と前記受領票の表面側同士を折り重ねた場合に、重ね合わせた対接面の適所を接着するための接着部を、前記対接面の適所に相対的に設ける一方、接着部分を分離するための分離機構を前記対接面に相対的に設けたものである。
【０００６】
【発明の実施の形態】
以下、本発明の好適な実施形態を添付図面に基づいて詳細に説明する。ここにおいて、図１は配送票の表面側を示す平面図、図２は配送票の断面図、図３は配送票を配送品に貼付した状態の斜視図、図４は配送票の他の実施形態を示す断面図である。
【０００７】
図１及び図２に示すように、配送票１は、配送品に貼付する貼付票２と、受領印を受ける受領票３と、配送品の明細を記入する明細票４を、切り用ミシン目５及び折り兼切り用ミシン目６を介して連接してなる。この配送票１の幅方向両側には、切り用ミシン目７ａ，７ｂを境として、マージナル孔８ａ，８ｂを等間隔に多数透設したマージナル部９ａ，９ｂを設けている。図示してはいないが、この配送票１は、当初は天地方向に多数連接された連続状態にある。
【０００８】

貼付票２の表面には、図１に示すように、「貼付票」なる標題１０とともに、受付年月日記入欄１１、届け先記入欄１２、依頼主記入欄１３の各記入欄を設け、伝票番号１４をあらかじめ印刷している。そして、前記届け先記入欄１２と前記依頼主記入欄１３とが配送情報記入部を構成している。図２に示すように、貼付票２の裏面側には、粘着剤１５を塗布するとともに、剥離紙１６で被覆して貼着部を構成している。

【０００９】

図１に示すように、受領票３の表面には、「受領票」なる標題１７とともに、受付年月日記入欄１８、配送情報記入部たる届け先記入欄１９と依頼主記入欄２０、受領印捺印部たる受領印欄２１を設け、伝票番号２２をあらかじめ印刷している。また、明細票４の表面側には、「お届商品明細票」なる標題２３とともに、商品名、数量、単価、金額を記入する配送品明細情報記入部たる明細記入欄２４を設け、伝票番号２５をあらかじめ印刷している。

【００１０】

明細票４のマージナル部９ｂ側には、切り用ミシン目７ｂと平行に切り用ミシン目２６を設け、この明細票４と受領票３の表面側同士を折り兼切り用ミシン目６から折り重ねた場合に、切り用ミシン目７ｂ端が切り用ミシン目５と対応位置する。前記各切り用ミシン目７ｂ，２６の間に位置して、明細票４と受領票３の重ね合わせ面を接着するための接着部たる、粘着剤２７とこれを被覆する剥離テープ２８とを設けている。なお、前記切り用ミシン目２６が前記明細票４と前記受領票３とを分離するための分離機構を構成する。

【００１１】

以上のように構成した配送票１を使用するには、各記入欄１１，１２，１３，１８，１９，２０，２４に所定の情報をそれぞれ記入し、マージナル部９ａ，９ｂを切り用ミシン目７ａ，７ｂから除去して、図３に示すように、剥離紙２８を剥離して粘着剤２７を露出したうえ、明細票４を折り兼切り用ミシン６から領収票３の表面側に折り重ね、前記粘着剤２７で重ね合わせ面を切り用ミシン目５の内側に沿って接着する。これによって、明細票４の記入事項は外部から視認不能な状態となる。さらに、剥離紙１６を剥離して粘着剤１５を露出し、この露出した粘着剤１５で貼付票２を配送品３０に接着する。

【００１２】

届け先においては、切り用ミシン目５を破断して、受領票３と明細票４を貼付票２から分離した後、さらに切り用ミシン目２６を破断して接着部を分離し、受領票３と明細票４を見開き状態として、受領票３の受領印欄２１に受領印の捺印を受ける。そして、必要に応じてさらに折り兼切り用ミシン目６を破断し、前記受領票３と前記明細票４を一体のまま、あるいは分離して、前記両票３，４を持ち帰るものである。

【００１３】

続いて、図４に基づいて、他の実施形態を説明する。本実施形態の配送票３１が上述した配送票１の構成と相違するのは、配送品３０への接着部の構成だけなので、この接着部の構成のみを説明する。他の構成については、対応する構成要素に同一符号を付するに止め詳細な説明は省略する。

【００１４】

貼付票２と受領票３の裏面には透明フィルム３２を設け、前記貼付票２に対しては強圧着や溶着による強接着層３２ａを介して剥離困難に強接着し、前記受領票３に対しては視し弱圧着や不完全な溶着によって剥離可能に弱接着している。前記透明フィルム３２の裏面側には粘着剤３３を塗布し、この粘着剤３３を剥離紙３４で被覆している。また、切り用ミシン目５は、前記剥離紙３４には達しないよう形成している。

【００１５】

本実施形態においては、上述した第１の実施形態と同様に、所定の情報をそれぞれ記入し、剥離紙２８を剥離して粘着剤２７を露出したうえ、明細票４を折り兼切り用ミシン６から領収票３の表面側に折り重ね、前記粘着剤２７で重ね合わせ面を切り用ミシン目５の内側に沿って接着し、明細票４の記入事項を外部から視認不能な状態とする。

【００１６】

そして、剥離紙３４を剥離して粘着剤３３を露出し、この露出した粘着剤３３で透明フィルム３２とともに、貼付票２と受領票３とを配送品３０に接着する（図３参照）。本実施形態においては、貼付票２と受領票３とが配送品３０に接着しているので、配送作業中に配送票１が安定した状態にある。

【００１７】

届け先においては、切り用ミシン目５を破断して、受領票３を捲り上げると、受領票３は透明フィルム３２に対して剥離可能に弱接着しているので、前記透明フィルム３２から剥離し、受領票３と明細票４を貼付票２から分離することができる。そして、切り用ミシン目２６を破断して接着部を分離し、受領票３と明細票４を見開き状態として、受領票３の受領印欄２１（図１参照）に受領印の捺印を受け、必要に応じてさらに折り兼切り用ミシン目６を破断し、前記受領票３と前記明細票４を一体のまま、あるいは分離して、前記両票３，４を持ち帰るものである。

【００１８】

なお、本発明は上述した実施形態に限定されず、受領票３と明細票４の位置関係を反対にしてもよい。この際、第２の実施形態においては、貼付票２と明細票４との裏面側に透明フイルム３２を設けることになる。また、明細票４を受領票３に折り重ねた場合に、切り用ミシン目２６が切り用ミシン目５と対応するよう構成してもよい。さらに、明細票４を受領票３に折り重ねた場合に両票３，４を接着する接着部は、必ずしも切り用ミシン目７ｂに沿った部分に限らないし、接着剤２７と剥離紙２８との組み合わせにも限定されない。またさらに、明細票４を貼付票２に折り重ねるよう構成してもよいものである。

【００１９】

【発明の効果】

以上説明したところで明らかなように、本発明の請求項１に記載した配送票によれば、配送品に貼付する貼付票と、配送品の内容を表示した明細票とが一体なので、配送品の内容と貼付票の記入事項とにマッチングミスを生じることがなく、また、明細票を受領票に折り重ねた状態で配送作業がなされるので、配送品の内容が明細票の記入事項から他人に知られることがないという効果を奏する。

【００２０】

また、本発明の請求項２に記載した配送票によれば、配送品に貼付する貼付票と、配送品の内容を表示した明細票とが一体なので、配送品の内容と貼付票の記入事項とにマッチングミスを生じることがなく、また、明細票を受領票に折り重ねた状態で配送作業がなされるので、配送品の内容が明細票の記入事項から他人に知られることがないとともに、配送作業中に配送票がバタつかず、安定した状態を維持するという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図１】　配送票の平面図。

【図２】　配送票の断面図。

【図３】　配送票を配送品に貼付した状態の斜視図。

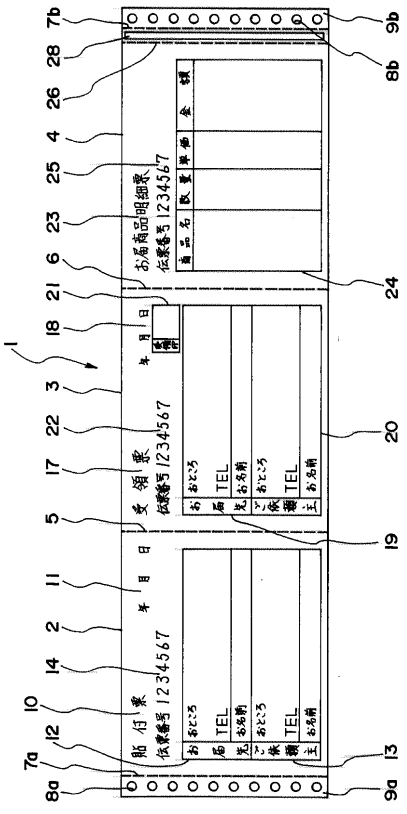
【図４】　配送票の他の実施形態を示す平面図。

【符号の説明】

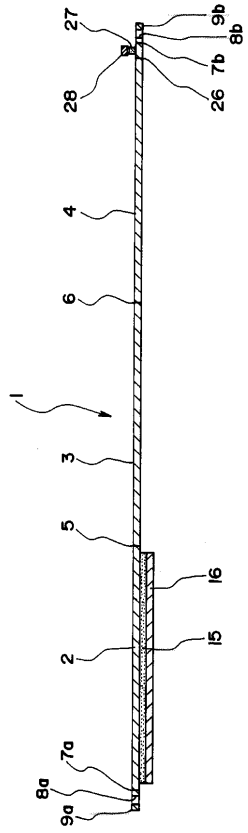
１，３１　　配送票
２　　貼付票
３　　受領票
４　　明細票
５，２６　　切り用ミシン目
６　　折り兼切り用ミシン目
１２，１９　　届け先記入欄
１３，２０　　依頼主記入欄
１５，２７，３３　　粘着剤
１６，３４　　剥離紙
２１　　受領印欄

２４　　明細記入欄
２８　　剥離テープ
３２　　透明フィルム
３２ａ　　強接着層

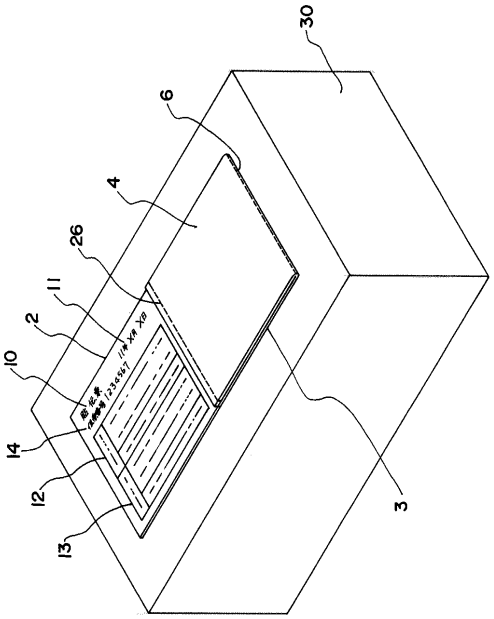
【図１】



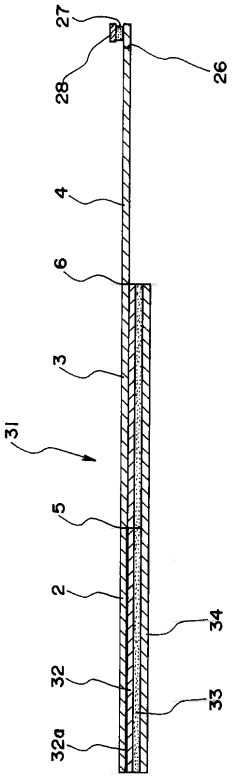
【図２】



【図３】



【図４】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl.[7], ＤＢ名)
B42D 11/00